



IXIL スライディングドア 引戸用網戸 収納タイプ 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●レールの両面テープの接着力が低下し、網戸脱落の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。

- ・張直しをしないでください。
- ・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
- ・床に強く押付け、必ず圧着してください。
- ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。

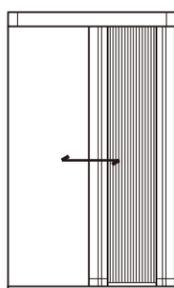
●収納枠取付け後、収納枠を引き、躯体額縁から外れないことを確認してください。

■取付け上のおお願い

●取付け面がクロス(壁紙)仕上げの場合、アンカープレートの両面テープでクロス表面をキズ付けるおそれがあるため、両面テープのリキ紙ははがさずにねじ止めしてください。又、下部に幅木などを回す場合は、事前に取付け面を確保してください。

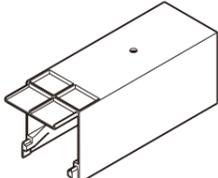
●必ず指定のねじで取付けしてください。

■姿図

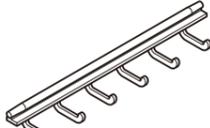


〈片引き〉

■部品一覧表

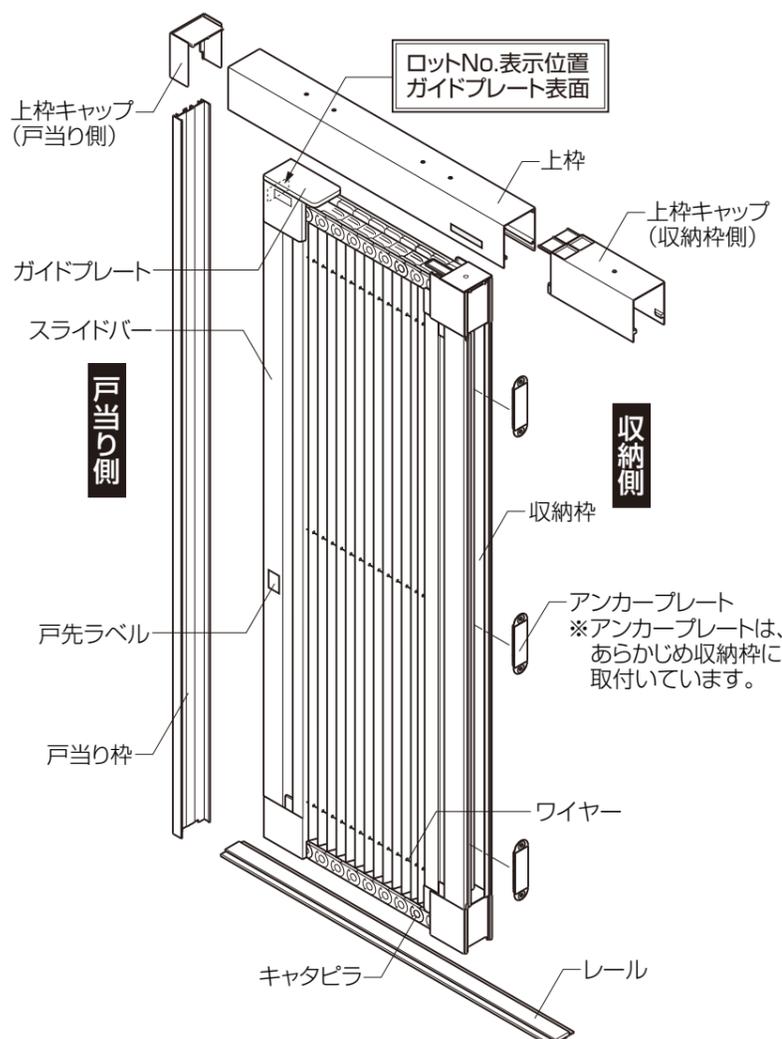
部品セット			
			
上枠キャップ		ナベタッピンねじ φ3.5×16	ナベタッピンねじ φ4×25

※部品セット内に同梱している上枠キャップの形状は、サイズ・仕様によって異なります。詳細は本説明書P.2「**3** 枠材の取付け」の手順②を確認してください。

下がり止めブラシセット	
	
下がり止めブラシ	ブラシストッパー

■各部名称図

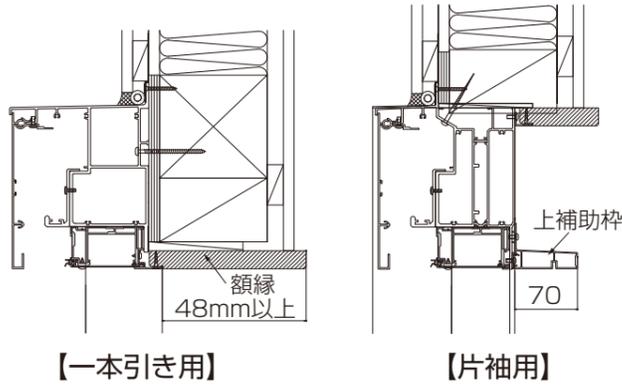
※本図は一本引き 1808 <W、片袖 1840 <Wの場合を示します。(Wは基本寸法Wを示します。)
※戸当り枠は、片引き仕様時のみ使用します。



■ 取付け順序

1 取付け位置の確認

- 網戸の開閉に支障がないように、下記事項を確認して取付け位置を決めてください。
- ① 取付け面および床に段差がなく、一本引きの場合 48mm 以上の取付け幅があることを確認してください。
※ 縦額縁については、41mm 以上の取付け幅があることを確認してください。
- ② 開口部の水平・垂直が正しく出ていることを確認してください。
- ③ クロス納まりで下部に幅木などを回す場合は、事前に取付け面を確保願います。



2 取付け個所の清掃

- ① 網戸取付け面を、必ず布などで清掃してください。
- ② 清掃した面にホコリ・油などが付いていないことを確認してください。



3 枠材の取付け

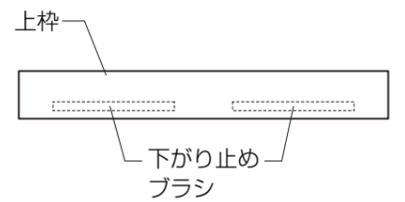
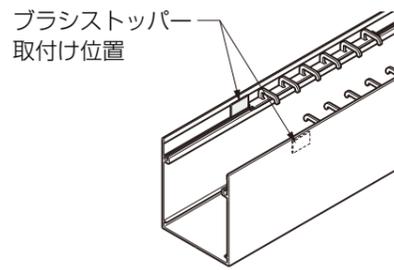
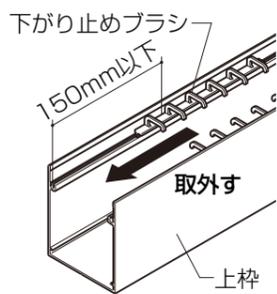
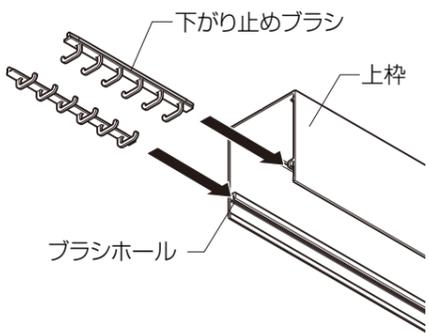
① 下がり止めブラシを下記の手順で取付けてください。

- ① 下がり止めブラシを上枠のブラシホールに挿入してください。
※ 両側のブラシホールに同数挿入します。

- ② 下がり止めブラシは、上枠のほぼ中央にくるようにしてください。両端の下がり止めブラシが無いところの寸法が 150mm 以下の場合、下がり止めブラシを 1 つ外してください。

- ③ ブラシストッパーのリケイ紙をはがしてください。

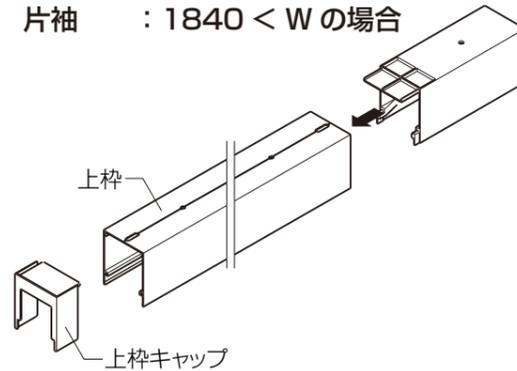
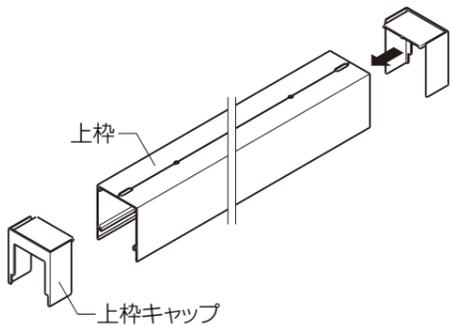
- ④ ブラシホールにブラシストッパーを差込み、上枠内側に張付けて下がり止めブラシを固定します。
※ ブラシストッパーに上下はありません。



② 上枠キャップを上枠の両端に差込んでください。

- 一本引き : 1808 ≥ W
片袖 : 1840 ≥ W の場合

- 一本引き : 1808 < W
片袖 : 1840 < W の場合

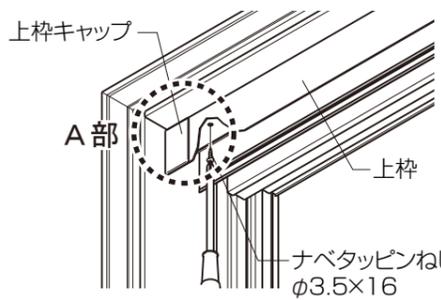
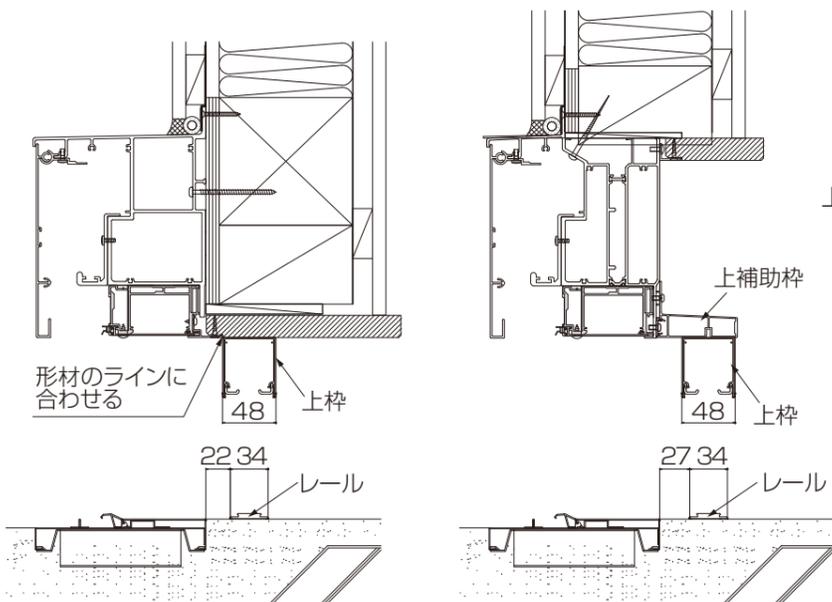


4 上枠の固定

① 上枠とレールを取付ける位置に印を付けます。

② 上枠を、戸当り側にすき間がないように位置決めし、ナベタッピンねじφ3.5×16で固定してください。

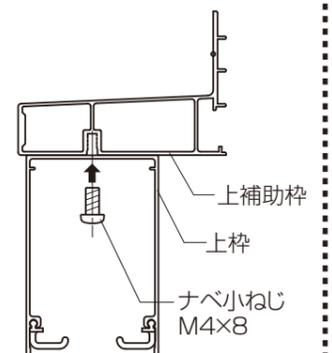
③ 上枠キャップを取付け枠にすき間がなくなるまで押付けてください。



■ 片袖補助枠納まりの場合

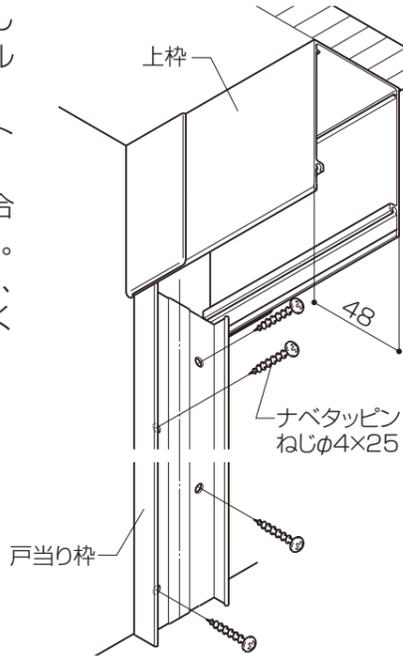
■ A部詳細図

- 補助枠の部品セット中のねじを用います。網戸本体の部品セット中の上枠取付け用ねじは、使用しません。



5 戸当り枠の取付け

- 戸当り枠は、上側シールがある方を上にして、取付けてください。取付け後、シールははがしてください。
- ※上下を逆にして取付けますと、マグネットが付かなくなります。
- ※戸当たり枠と上枠キャップが干渉する場合は、最大5mm、下側を切断してください。
- 戸当り枠の中心と上枠の中心を合わせて、ナベタッピンねじφ4×25で固定してください。



7 本体の取付け

※取付け面がクロス仕上げの場合は、次項の「**取付け面がクロス(壁紙)仕上げの場合**」を参照してください。

- ①製品本体の上下を確認してください。「上側」シールを上にしてください。

お願い

- ※上下を逆に取付けると、作動不良になります。
- ※取付けが完了するまで、製品を開閉させないでください。キャタピラが外れるおそれがあります。

- ②収納枠裏側に付いているアンカープレートのリケイ紙をはがしてください。
- ③製品本体を斜めにして上枠とレールの間に入れてください。
- ④製品本体がレールから浮かないように、レール側に押付けながら、収納側の取付け面に押付けてください。
- ⑤網戸本体の収納枠に両手をかけ、戸当り方向に引っ張ると取付枠から製品が外れます。このとき、網戸本体をレールから少し浮かせて、左右どちらかの方向へひねると容易に取外すことができます。
- ⑥収納枠に付いていたアンカープレートは両面テープにより仮止めされますのでタッピンねじで固定してください。

お願い

- ※ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバを使用しますとアンカープレートが変形する場合があります。

- ⑦製品本体の取付け時と同じ要領で製品が浮かないように収納枠をアンカープレートの突起に合わせ、「パチン」と音がするまで押付けると固定されます。

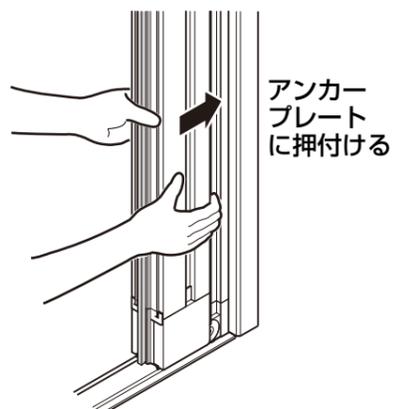
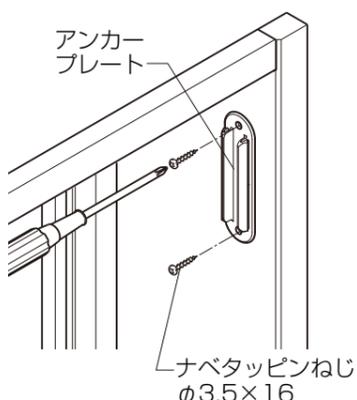
※引き分けは両側に網戸がつかます。

▲ 注意

- 取付け後、収納枠を引き、躯体額縁から外れないことを確認してください。

■一本引きの場合

●アンカープレートの固定

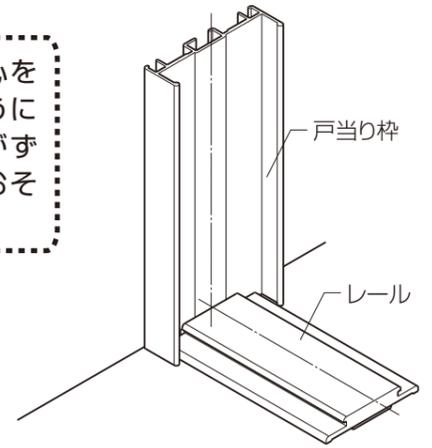


6 レールの取付け

- ①レールの両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。

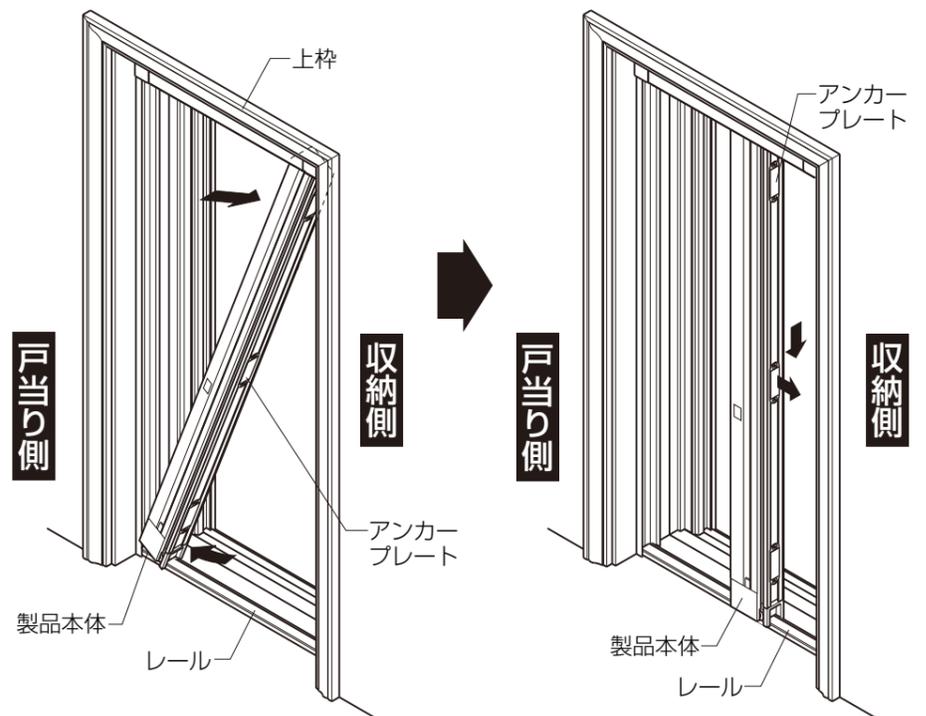
お願い

- ※戸当り枠とレールは、中心を合わせてすき間がないように取付けてください。中心がずれると、作動不良になるおそれがあります。



▲ 注意

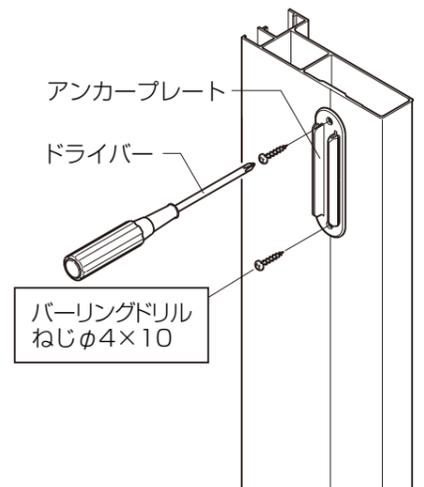
- レールの両面テープの接着力が低下し、網戸脱落の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。
 - ・張直しをしないでください。
 - ・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
 - ・床に強く押付け、必ず圧着してください。
 - ・接着効果を確保するため、24時間放置してください。



■片袖 補助枠納まりの場合

- 補助枠に仮止めされたアンカープレートは、補助枠の部品セット中のバーリングテクスねじφ4×10で固定してください。

※ねじがきかない場合は、新しいねじで位置をずらして固定し直します。(一度締めたねじは、ねじがきかない場合でも取外さないでください。)



■取付け面がクロス（壁紙）仕上げの場合

お願い

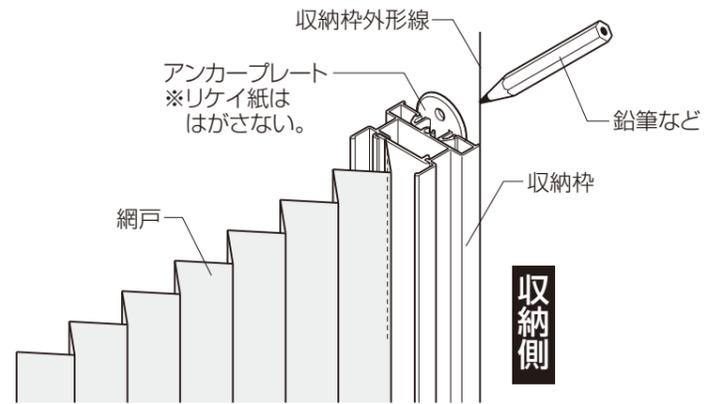
※アンカープレートの両面テープでクロス（壁紙）表面をキズ付けるおそれがあるため、両面テープのリケイ紙は、はがさずにねじ止めしてください。

- ①製品本体の上下を確認してください。「上側」シールを上にしてください。
 - ②アンカープレートの両面テープのリケイ紙をはがさずに製品本体を取付け面に合わせます。
 - ③鉛筆など（後で消せるもの）でアンカープレートのある位置に印を付けます。（アンカープレートは3～4個付いています。）
 - ④製品本体をいったん取外し、アンカープレートを取付ける位置出しを取付け面に行います。
 - ⑤アンカープレートを収納枠から取外し、取付け面に位置出したところと同梱のねじで取付けます。この場合も、両面テープのリケイ紙ははがさないでください。
- ※アンカープレートは、はめ込み式です。マイナスドライバーなどをすき間に入れると取外しやすくなります。

お願い

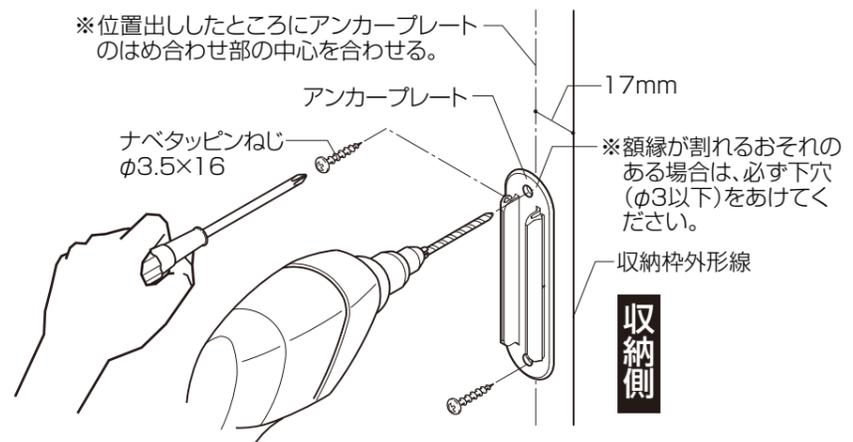
※同梱のねじ（φ3.5×16）で、柱などにねじが届かない場合は、必ず柱などに10mm以上かかるねじを別途手配して取付けてください。その際は、アンカープレートのベース部より、ねじの頭が出ないようにしてください。

- ⑥「7 本体の取付け」の③と④にしたがい、製品本体を取付けます。※収納枠とアンカープレートをはめ込むと「パチン」と音がします。
- ⑦取付け面に鉛筆などで付けた目印を消します。



▲ 注意

●取付け後、収納枠を引き、躯体額縁から外れないことを確認してください。

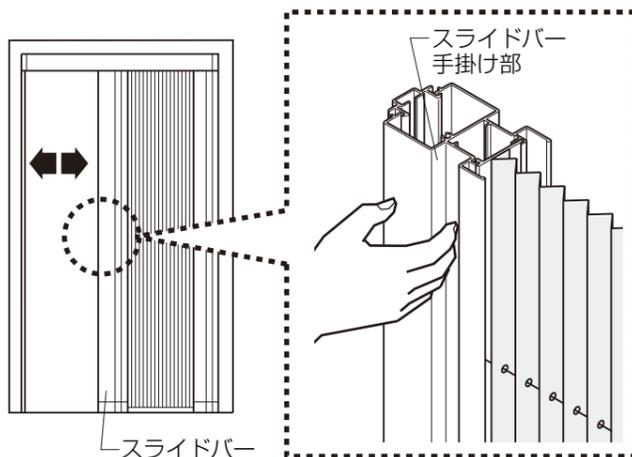


8 作動確認

- ①スライドバーの手掛けに手を掛け、作動を確認してください。異常（大きなガタツキ・蛇行・外れなど）がある場合は、説明書の各手順を確認し、修正してください。

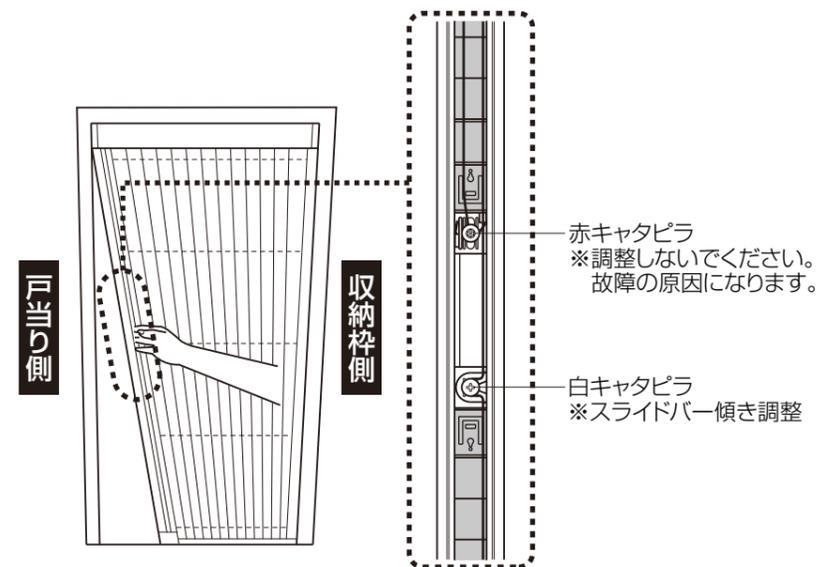
お願い

※油などの潤滑剤は使用しないでください。ホコリなどが付着し、故障の原因となります。



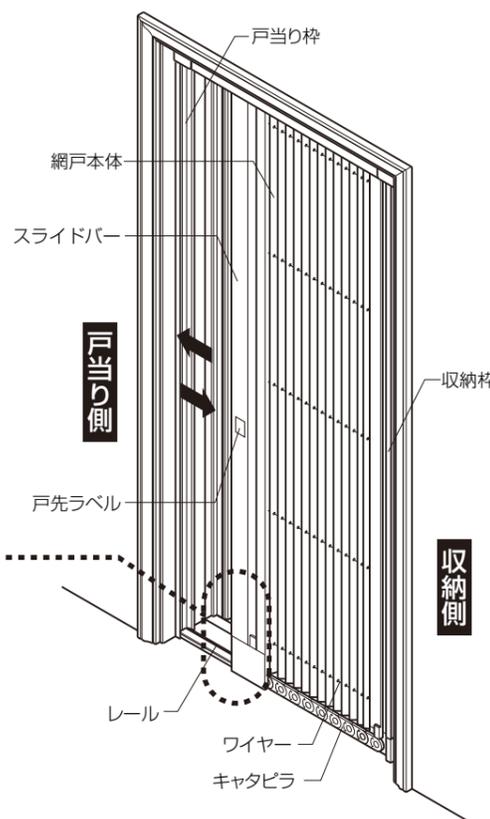
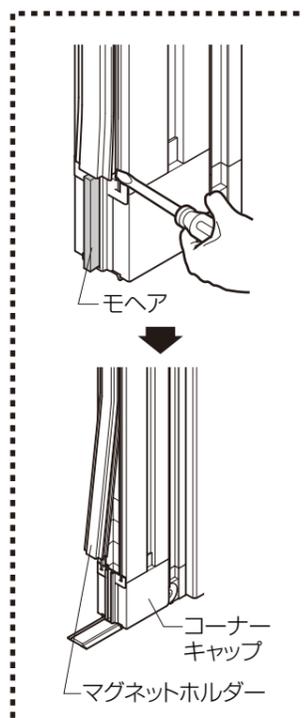
9 各種調整

【戸当り側又は、収納枠側の額縁が下図のように反っていて、網戸を閉めてもスライドバーが固定されない場合】

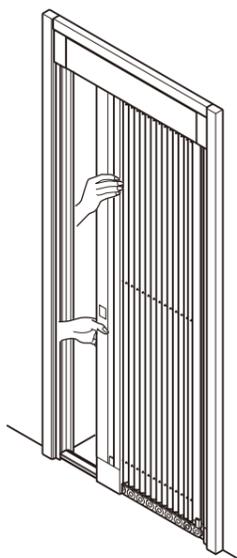


※以下の手順にしたがい、調整してください。

- ①スライドバーの建付け調整ねじは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているマグネットホルダーを外してから調整します。
- ②スライドバー戸先面に付いている、マグネットホルダー下部とモヘアの間にマイナスドライバーの先端を斜めから差し込み、持ち上げるとマグネットホルダーがスライドバーから外れます。外れた部分を持って下から引きはがすようにして上まで全部外します。

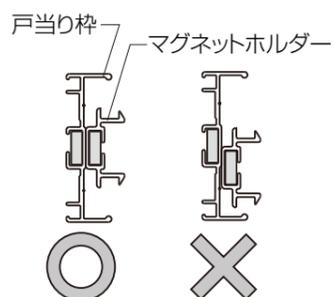


- ③白キャタピラの調整ねじをゆるめます。
- ④図のようにスライドバーの上下を持って傾きを調整します。
- ⑤白キャタピラの調整ねじを締付け固定します。

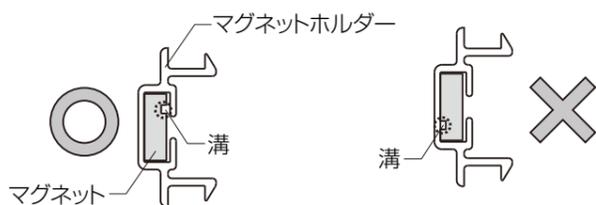


お願い
 ※ねじは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとねじが破損する場合があります。

- ⑥マグネットホルダーが戸当り枠のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

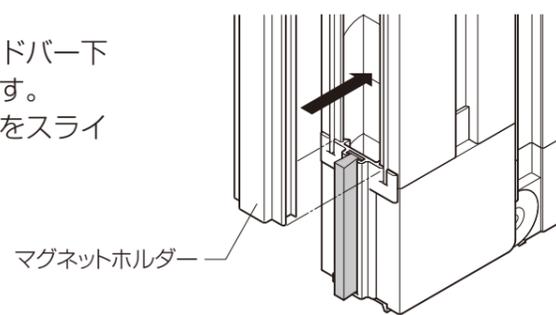


※上図のようにマグネットホルダーがずれて固定される場合は、マグネットの溝を図の通りにしてください。



- ⑦すべての確認が完了したらマグネットホルダーを取付けてください。
 ※マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ押付け取付けます。
 ※下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けます。

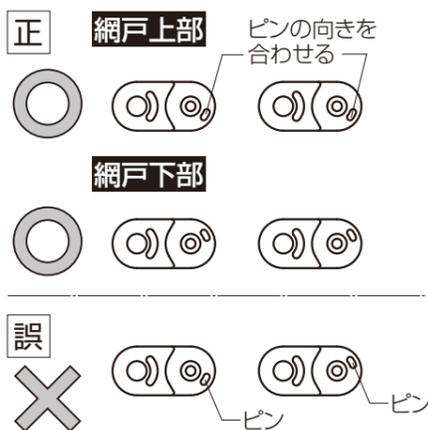
■マグネットホルダーの取付け



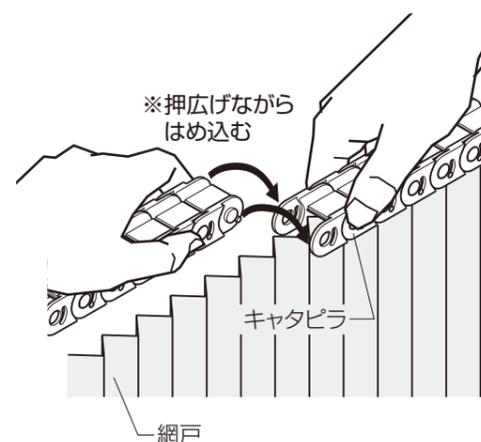
【キャタピラが外れてしまった場合】

- ①キャタピラが外れてしまった場合には、下図のようにキャタピラの向きに注意しながらはめ込んでください。
- ②はめ込む時は、下図のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

■キャタピラの向き



■キャタピラのはめ方



MEMO
